



動く歩道と可変速高速動く歩道

1959 年卒 中谷 博

動く歩道が、日本国内で一般の人々に広く知られるようになったのは1970年に大阪で開催された大阪万国博覧会が最初と思われる。実際には、大阪万博が開催される3年前から大阪阪急梅田駅のコンコースに、ゴムベルト式の動く歩道が稼働していた。大阪万博では数多くのメーカーが、全長約5キロメートルに及ぶ様々なタイプの動く歩道を設置していて、さながら動く歩道の見本市の様相を呈していた。

大阪万博に先立つ2年前に、それまで三菱電機のエレベーターの機器開発、設計を担当していた私が動く歩道の開発と万博の動く歩道の設計を担当することになった。大阪万博を契機に、その後約20年近く動く歩道の開発と、国内外の工事に係ることになったので、私が担当した大阪万博以降の動く歩道を中心に、内外の動く歩道や「可変速高速動く歩道」についても述べることにしたい。

1970 年の大阪万国博覧会の動く歩道

動く歩道には、大きく分けてゴムベルト式とエスカレーターと同様に踏み板がアルミダイキャスト製のパレットを使用したパレット式がある。大阪万博の場合は、圧倒的にゴムベルト式が多く、長さも100メートルを超え200メートル程度のものが多かった。鋼線あるいは鋼板で補強したゴムベルトにテンションを加える張力装置は、大掛かりな



大阪万博の基幹動く歩道外観と三菱未来館

油圧式で、張力装置の長さも10メートルを超えるものが多かった。これらの動く歩道の大部分は、万博会場全体の基幹輸送手段として活用された。一方、パレット式動く歩道を採用したのは、三菱電機と日立製作所のみである。



大阪万博の基幹動く歩道の稼働状況

私が担当した三菱電機の場合は、三菱未来館の展示物や映像を動く歩道に乗り

ながら見る事が出来るように、4台の動く歩道をシリーズに配置して、非常に多い来館者の移動手段として用いることにした。観客のための空調設備も動く歩道の欄干部分に設け、冷気が欄干部分に吹き出る構造としたため、多くの観客が手摺に寄りかかることになり、手摺が停止するという予期せぬトラブルにも見舞われ、徹夜して対策を施したこともあった。三菱電機の動く歩道は、アメリカ館の入り口のスロープにも設置して、多くの来館者の移動に用いられた。アメリカ館は、「月の石」や月から帰還したロケットの展示などで人気があり、非常に多くの来館者があった。

阪急梅田駅コンコースの動く歩道

大阪万国博覧会に引き続いて、1971年、阪急梅田駅のコンコースに、以前設置されていたゴムベルト式の動く歩道を撤去して、新たにパレット式動く歩道を設置する計画が持ち上がった。これまで稼働してきた動く歩道は、三精輸送機が製作したゴムベルト式で、撤去したスペースに収めるよう要求された。三菱電機では、1971年に阪急梅田駅と阪急



阪急梅田駅コンコースの動く歩道

百貨店を結ぶコンコースに、第1号機を納入し、引き続いて、合計8台の動く歩道を3か所のコンコースに設置して、非常に多くの通行人の輸送に活躍した。

このコンコースを通過する人達は、ほとんど動く歩道の踏み面（パレット）の上を歩くのが普通で、パレットに相当の動的負荷がかかり、振動によるビスの弛みが生じないように対策を施して、なんとか無事長年の使用に耐えることが出来た。阪急電鉄、梅田駅コンコースのように、交通量の多い所では、動く歩道の内部に大量の埃が堆積するので、タバコのポイ捨てによるボヤが生じて、消防車の出動で大騒ぎになったこともあった。この阪急梅田駅コンコースの動く歩道は、万国博のような一時的設備ではなく、常設の動く歩道の1号機で、私にとっては良くも悪くも思い出の多い動く歩道であった。梅田駅周辺の再開発で、数年前に撤去され、現在は2台の透明欄干タイプの動く歩道が、ささやかに稼働しているが、以前のような活気がなくなっているようだ。



現在の阪急梅田駅コンコースの動く歩道

(つづく)

いのちをいかすいけばなの美と心

藤川 卓爾（昭和 42 年卒）

1. 日時：平成 28 年 11 月 5 日(土) 10:30 ～ 11:45
2. 場所：京都大学百周年時計台記念館 1 階 百周年記念ホール
3. 講演内容抜粋：

(0)講師紹介：池坊次期家元、先祖は小野 妹子、池坊には「流」は付かない。アイスランド共和国名誉領事。

(1)華道は「仏前供花」から始まる。池坊はもっとも古いので「流」を持たない華道家元である。当時最先端の随から小野 妹子が持ち帰った。初めは「専」無し。六角堂の住職は「専」を受け継いでいる。本名は「ゆき」。

(2)今までに 3 人の専好がいる。初代は安土桃山時代に前田 利家の家で秀吉を迎えるために花を生けた。

(3)花を飾ったり、プレゼントする文化は世界にもある。欧州では初夏からに夏にかけてテラスに花を飾った。ガーデニングという文化もある。日本では生花（いけばな）という名前を持って日本を代表する文化になった。生活文化にもなった。どうしてそのように評価されているのか。

(4)花を「生ける」というが、普通は「飾る」か「挿す」という。しかし「飾る」や「挿す」は動作である。「生ける」は「生かす」が入っていて「生命感」を示唆する。「花」を美しいと思う「心」も美しい。

(5)生花の 3 つの美しさ：

①「かたち」の美しさ。春の桜、秋の紅葉、好き勝手に生けてよいのではない。約束、様式がある。「かたち」には合理的、実務的だけではなく美意識、宗教観がある。

・生花は左右非対称。西洋の花はこのように左右対称。生花は見た目はアンバランスでも重量的にバランスする。また、余白を大切にする。海外ではすべてを明らかにするのに対して、日本の美意識はすべてを分かり易くではなく少し抑える。→ 暗黙の了解がある。100ではなく 60 か 70。これが日本人の精神構造である。シンガポールで少ない本数で生けたら、沢山の花を使って沢山のお金をかけたことを表してほしいと言われた。



- ・陰陽も大切。同じ要素を同じように使うのもダメ。それぞれが異なることを大切に。背の高い草に低いものを合わせることで、より、高いものはより高く低いものはより低く見える。私の父はミスユニバースの横にゆきが行くときれいに見えない、ゴリラの横に行くときれいに見えると言った。



- ・「かたち」を反復することによりその日の自分の状態を確認する(乱れているのか落ち着いているのか)。
- ・生花でも茶の湯でも所作は美しい(無駄がない)。

②「姿」の美しさ。姿は1本1本異なる。

- ・コスモスもハウス栽培のコスモスと川原のコスモスは違う。ハウス栽培のコスモスは最適条件で育ちやすくその植物のポテンシャルを最大限に引き出す。川原のコスモスは決していい条件ではない。風に吹かれながら太陽の方向に向かうので曲がっている。「姿」を見れば育ってきたプロセスが分かる。生花人はそういう花を使いたがる。西洋のフラワーアレンジメントとは違う。

③「命」の美しさ。生花の花は単に花だけではなく、あらゆる草木のあらゆる状態を花とする。

- ・開花した状態だけでなく、蕾も、葉も、枯れた花も、枝も、若木も、すべてに「命」が宿っている。蕾には蕾しか出せない美しさがある。満開の時だけが花ではない。これはとても大切なメッセージである。
- ・今の価値観は強いもの、将来性のあるもの……資本主義的価値観である。でも文化の世界では別の物差しがあり、商品価値がなくても素晴らしいものがある。
- ・「仏前供花」から始まったこと、ありとあらゆる「命」に価値観を見出そうということ。池坊 専応(16世紀)の口伝：枯れた花にも花がある。
- ・外来種を知ろう、生けよう。新しい生花：生けるときに捨てたものを使う。生花を通して環境を考える。生花という切り口から世界を考える。次代にどう伝えるのか、歴史、伝統、宗教観……。

<生花実演>

- ・花器の口は水平に。

- ・バラ：生花の面白いところは全部「姿」が違う。その良さを引き出す。
- ・椰子を使う。赤←→緑、花←→葉、陰陽。
- ・1本1本の草木の間に空間を置く。
- ・どこがいいのか正解はない。
- ・美しい花だけを取合わせても美しくならない。それを引き立てるものも必要。

＜山極総長の生花＞

- ・アフリカにちなみ大きな瓢箪の花器、アフリカの花材。
- ・植物は色とか形とかで動物を誘惑している。
- ・ゴリラはバナナの葉を食べる。梅檀は日本猿も食べる。
- ・ジャングルには命が溢れている。ゴリラは食べられるものかどうかという見方を
する。それぞれの見方がある。
- ・全体と部分、広がりを見る。
ゴリラは地上から部分から見る。鳥は上空から見る。
- ・果実は本来は鳥のエサで昼間に上から見て取るが、猿はそこへ入って行った(果
実をとって食べる)。



(おわり)

チュニジア (Tunisia) (その2)

檜原 勇多賀 (S 3 7 卒)

チュニジア観光でまず最初に見るのは、やはり、『カルタゴ遺跡』であろう。二度目に訪問した折り、日曜日を利用して、早速『カルタゴ遺跡』見物に出掛けた。

カルタゴは、現在のチュニジアを中心にアフリカ北岸地方に栄えたフェニキア人の植民市であった。伝説ではBC 9世紀末にチルス市の逃亡女王が建設したと伝えられる。農業を基礎としながら地中海貿易に活動し、BC6世紀頃からエトルリア人やギリシャ人と争いつつ西地中海に地歩を固め、シチリア西半分に勢力を張った。BC3世紀には西地中海随一の富強を誇り、ハンニバルの下にローマと対決したが、BC146年ポエニ戦争に敗れて破壊され、ローマの属州になった。カエサル・アウグスツスがここに植民市を再建し、2世紀には帝国領内でも指折りの穀物輸出港となった。さらに、修辞学・法律などの教育の中心地となり、3世紀にはキリスト教の中心地となった。5世紀にバンダル族がアフリカに移動すると、その王ゲイセリスクの根拠地となったが、697年アラビア人に占領されるまでビザンチン帝国に忠実に従った。

<フェニキアの港>(Ports Puniques)

チュニスーカルタゴ空港の側を
通って海岸沿いに東に走ると、約1
時間でカルタゴに着く。カルタゴに
入って直ぐ左手に<フェニキアの港>
がある。ここは、フェニキアの時代、
港として使われ、ローマ軍が攻めて
きたときに、何十艘もの軍船がここ
から一斉に漕ぎ出して、ローマ軍を
迎え撃った軍港でもあった。よく
見ると、ここが船を隠すのに最適な
地形であることが判る。



入口の料金所に赤いトルコ帽をかむった色の黒い痩せた老人がいて、我々を案内してくれた。案内してくれるのはよいが、それがフランス語なので、殆ど理解できない。それでも、赤帽子の老人は、手振り身振りを交えて熱弁を振るうのである。

案内の途中で、その老人がフト岩陰から何か拾い上げ、それを手のひらに載せて突き出した。手のひらには、数枚のコインが載っていた。

「Roman coin」(ローマのコインだよ、買わないかネ)

「How much ?」(いくらだい?)

「Five dinar」(1,600 円だ)

「Soldier ...」(ローマの兵隊の顔のコインだ)

手にとってよく見たが、完全にすり減っていて、それらしい形がかすかに判る程度で、本物か偽物か見分けはつかない。

＜まあ、ドブに捨てたと思えばよしッ＞

・・・ というわけで、その老人から『Roman coin』という金属のかけらを一枚買うことにした。

今も、その金属のかけらは『Coin Album』の中に大切に保存してある。そして、ときどき出して眺めるのだが、眺めるたびに、＜ひょっとすると、これは本物かも知れない＞ という想いを募らせている。



この＜フェニキアの港＞の中に小さな資料館があって、中に＜フェニキアの港＞の模型が置いてある。この模型を見ると、＜フェニキアの港＞が如何に自然の良好であったかが良く判る。 港の入口は極端に狭く、湾内の中央に小島があって、この島の周囲に多数の軍船が放射状に隠されている。 島の中央に高い塔がある。案内人のフランス語による熱弁から推定するに、この高い塔は監視所で、北からローマの大軍が押し寄せてくると、監視員がそれを見つけて、トランペットを高らかに吹いて味方に知らせ、これを合図に、湾内に隠れていた軍船が一斉に漕ぎ出したらしい。案内人が右手を鼻先にくっつけて、親指と小指を伸ばして天を仰ぎ、監視人がトランペットを吹く真似をした光景が、網膜に鮮明に残っている。

＜フェニキアの港＞の次は、Antiquarium <Roman village> である。ここは、フェニキア人、古代ローマ人、ビザンチン帝国の 3 時代に亘って使われた住居跡である。したがって、遺跡もそれぞれの時代のものが混じり合って存在する。貯水場や水道の跡まで残っている。

左手の小高い丘の上に、古代ローマの軍人ジュリアス・シーザーの館がある。床や壁には、モザイク画がはめ込まれている。また、ここからの見晴らしも素晴らしい。

＜ローマ人の住居跡＞のすぐ近くに、Theatre <円形劇場＞がある。この円形劇場はもちろん石造りの野外劇場であるが、現在も野外劇場として使用されている。

＜円形劇場＞から、自動車道を横切って再び海辺に出ると、そこには Thermes d'Anhtonin ＜大浴場跡＞がある。ここは、ローマ人がはるばるザクアンより水を引いてきて、入浴した浴場跡である。中は沢山の部屋に仕切られていて、それぞれの部屋は異なった趣を持つように設計されている。このうちの一つの小さな部屋の片隅に、小さな石棺が置かれている。この石棺は、その昔、自分の第一子を神に供えたその子の悲しい棺桶なのである。



＜大浴場跡＞に隣接して、気の遠くなるほど広々とした敷地の中に建つ大邸宅がある。チュニジア大統領アビブ・ブルギバの官邸である。



(つづく)

朝永正三先生にとっての工部大学校と東京大学の合併と、その後

藤尾博重（精密工学教室元教官）

(3) 工部大学校と東京大学の合併に際して

(3-2-3) 東京大学・工部大学校における授業

(3-2-3-3) 工部大学校における授業内容 (つづき)

他方、工部大学校へ入学した学生についての入学条件などはどのようなものであるか、改めて示そう。工部大学校學課並諸規則（明治十年十月三日改正届出）の第六節には、「入校免許ハ試験ヲ以テ及第スル者ヲ撰ミ命ス凡日本ノ臣民族々ヲ問ハス十五歳ヨリ二十歳ニ至ルマデ體質健康ニシテ行狀端正ナルモノヲ試験シ及第スル者ヲ以テ入校ヲ免許スヘシ」（東京大学百年史 資料一 P.85）とあって、年齢は15才以上20才未満となっている。東京大学よりも入学年齢は高く、上限が設けられているところに違いが認められる。

工部大学校の場合、東京大学と異なって予備門的な教育経過を辿る道筋が全く布かれておらず、いきなり試験を受けて合格さえすればよかったと言えよう。しかし、試験を受けるにしても、工部大学校への入学をはかろうとするには当事者たちはどのような生活を送っていたのであろうか。

実際に工部大学校入学前にどのような教育を受けたのかの資料は極めて限られている。その少ない資料の一つを次に示そう。前述の舊工部大学校史料附録 P.667において、荒川巳次（2期生 鉱山科）は自身の入学前に受けた教育について次のように記している。

「先づ數學は芝新錢座の近藤塾に入りて學べり、當時の學資は月四圓にして、月謝一圓、食料二圓、小遣一圓といふ割當なりき。英語は横濱居留地に當時は英佛共に一大隊位の衛兵を有し居り、英國の衛兵隊なる赤隊は山の手の坂を登りて一番上の方にあり、パークス公使も當時は横濱に居りたるが、其の英國の赤隊の大隊長に村田銃の發明者なる村田經芳氏が懇意なりし故、此の村田氏の紹介を得て、其の大隊長の夫人に英語を習ひ、英語の意味は三田の慶應義塾にて学びたり、斯して虎の門の試験場に行きて受験して工部大學に入學するに至りしなり」と。

この例からも見られるように工部大学校の学生は、入学前に公式の教育を受けた形跡はみられず、自分なりに人づてを頼っての勉学の機会しかなく、相当な苦勞のほどを強いられて工部大学校への道をたどっていたのであろう。

さて、このようにして入学した工部大学校についてのあらましは前報で示した。ここでは、工部大学校学生が受講した数学の延時間が、予備門を経ての東京大学学生の数学の延時間数に及ばないことを前述してきたので、数学の授業内容としても東京大学のそれに到達していないのかについて検証する。

東京大学理学部の工学科の数学は前述の通り、第2学年では微分・積分であつたろうと（3-2-3-2）で指摘した。それでは、工部大学校における数学の内容はいかなるものか資料より検討する。京大文書館には、朝永先生が受講した科目のノートが保存されており、それを調べるのが本筋であろうが、ここでは、別の資料からその内容を検証しよう。

明治18年4月に改正された工部大学校學課並諸規則によれば、例えば、数学について各学年の講義内容が細かく記されている。朝永先生が工部大学校に在籍した明治18年4月の時点では、朝永先生は第4学年になったばかりで、専門科第4学年以降では数学の授業は課せられていなかった。そこで、明治18年の改正された工部大学校學課並諸規則を、朝永先生の場合に当てはめて議論することは適切さを欠く。そこで、改正以前の工部大学校學課並諸規則にもとづいて検証する。この改正以前の工部大学校學課並諸規則では、数学の講義内容は記されているが、どの内容をどの学年に対して適用するか明確でない。しかし、工部大学校では、数学は限れば第1学年から第3学年にのみ課せられており、したがって、明治18年に改正された工部大学校學課並諸規則の数学の教科内容を学年ごとに配分することがほぼ可能である。その考えにもとづいて、朝永先生が受講した数学の内容を表14にまとめた。この表からも分かるように、工部大学校においても東京大学におけるのと同様に、微分・積分が講じられていたことが判明した。

このことを裏付ける内容を岩田武夫（第2期生 電信科）は、「舊工部大学校史料参考記事」と題して紹介している。それは、「高等數學はコニックセクション、微分、積分、微分方程式等。高等物理學は多分電氣に關する測定機械の原理、發電の原理などにして多くは微分方程式によりて解決する問題なりき。」（舊工部大学校史料附録 P.17）と。ここに記されている「コニックセクション」の意味については不明。

東京大学・工部大学校の数学について長々と触れてきた。その結論としては、確かに東京大学に在籍した学生には予備門が大学への準備機関として役割を用意されてきたが、それに対して、工部大学校学生は、東京大学学生に見られるように、公的な勉学の準備機関も設けられず、荒川巳次（2期生 鉦山科）の例に示したように、私塾的な勉学の方法に依らざるを得なかった。そのために、数学に限れば工部大学校学生は数学の延べの修業時間は、東京大学学生に引けをとること

となったが、卒業時には数学について同程度の習熟度に到達していたと考えてよからう。

東京大学学生の学業期間は、予備門で3～4年、東京大学での4年と計7～8年間（数学に限れば、5～6年）であったのに対して、工部大学校の学生は限れば実質的に3年間で習熟することを求められた。このことは工部大学校の授業がかなり密なものであり、学生にとってもかなり苦勞を強いられたことをうかがわせる。このような事情のために、工部大学校学生にとって苦學に満ちた思いが、工部大学校が東京大学工芸学部に吸収されることへの違和感を募らせたことになったのであろう。

表 14 朝永先生が受けたと考えられる数学の受講内容

（舊工部大學校史料 P.246, および, 明治 18 年 4 月に改正の工部大學校學課並諸規則 P.112 より作成）

学年・期間	程度	講義内容
第 1 年～第 2 年 夏学期 4 月～7 月	數學初歩	幾何學・代數・平面三角法・對數・弧三角・幾何錐円截面
第 2 年 冬学期 10 月～3 月	高等數學	代數・三角法・平面代數幾何・立体形代數幾何
第 3 年 冬学期 10 月～3 月	高等數學	微分・積分・積分方程式

(つづく)

日時：平成 28 年 11 月 26 日(土)13 時～ 17 時(テニス)、18 時～ 20 時(懇親会)

会場：(テニス) 六甲アイランドテニスクエア (別名ダンロップテニスクール六甲アイランド)

(懇親会) 酒心館『さかばやし』

次第：Part 1 紅白対抗ダブルス戦

Part 2 決勝トーナメント・親睦試合

参加者：15 名

趣旨： テニス愛好の皆さんに、プレーを通じて交流の機会を増やす目的で、平成 28 年 1 月から テニスカフェを立ち上げ、第 1 回は神戸地区で、第 2 回は京都地区で開催し、これまでに、兵庫・京都・大阪から 80 歳代から現役 30 歳代まで 23 名の方が参加いただいております。第 3 回は再び神戸地区での開催で、今後も年 2 回程度、場所は神戸と京都会場の 2 会場を交互に企画し、京機会員であるかないかに拘わらず、その地域のテニス仲間にも声をかけながら、開催していきたいと思ひます。

実施結果：晴天にも恵まれ、初参加 4 名、夫婦が 2 組を含む 15 人(年齢は 70 歳代から現役 50 歳代)が、東は高槻、枚方から、西は徳島から集合して、紅白二組に別れ、元気いっぱい夕暮れまで思う存分にテニスを楽しみました。

全スケジュールを終え、コート上で集合写真撮影



紅白戦 戦績

◎紅組（吉谷、板垣、北野、本地、佐久間、岡本、Mrs. 成瀬） 5 勝

白組（西脇、有本、三輪、古庄、Mrs. 本地、石鍋、村田、成瀬） 10 勝

個人順位(ゲーム勝率): 1 位 三輪、2 位 石鍋、3 位 Mrs. 本地 以下略

個人順位上位 8 名によるダブルス決勝トーナメント 結果

1 位 三輪・佐久間ペア 2 位 古庄・石鍋ペア



懇親会には 14 名が参加されました



徳島から参加された三輪選手が個人戦 1 位と決勝トーナメントで優勝

第9回京機会ゴルフカフェ開催報告

平成28年11月4日(金)に日本最古のゴルフ場である神戸ゴルフ倶楽部で開催されました。当日は参加者の皆様の日頃のご精進の結果か、この時期には珍しく素晴らしい好天に恵まれました。六甲山頂に近く、平地より3-4℃低い気温ということで真冬の服装で行きましたが、暖かさにびっくりしました。今回は会場が日本最古のゴルフ場という事で藤原京機会会長(当時)をはじめ、関東、中部支部からも参加者があり、最終的に23名とゴルフカフェ最多の参加者を集めました。また、初めて女性の参加者として野田圭子様、西宗園子様をお迎えしました。

コースはロングホール無しの18ホールパー61ですが、アップダウンがきつく、砲台グリーンと難しいバンカーに苦しめられ、カート無しのプレーという事もあったか、皆さん通常のパー72のコースと同じようなスコアでした。その中でベスグロは最高齢グループ4名の一人、小澤 三敏氏の79(エージシュート!)でした。プレー後は受賞者の挨拶と情報交換に話が弾みました。ダブルペリアの結果、優勝はネット63(ハンディ30)の橋永雅夫(1975年)、2位が石井清治氏(1973年)、3位 小澤三敏氏(1958年)、BB賞 中島 政明氏(1965年)でした。幹事が優勝してしまいましたが、幹事疲れの方は家についてからどっと出ましたことを併せて報告申し上げます。

なお、神戸ゴルフ倶楽部をご紹介いただいた野田忠吉様、圭子様ご夫妻から「昨日は、皆様にご来場を戴き、まことに有難うございました。皆様方の日頃のご精進のおかげで、この時期としてはまれにみる好天の中、ゴルフを楽しんでいただけたと喜んでおります。橋永様、並木様には事前の周到な準備と当日の円滑な運営に感謝いたします。神戸ゴルフ倶楽部は本年は11月半ばで冬季のクローズとなりますが、来年も4月15日ごろからオープンになりますので、また、お誘いあわせのうえご来場いただくようお待ちしております。重ねて、ご来場ありがとうございました。」というコメントをいただいております。



(左 クラブハウス入口、ログジ風です)(右 プレーで使うバッグ、MAX10本まで。
キャディさんが4つまとめて担いで歩きます)

野田様ご夫妻には神戸ゴルフ倶楽部メンバーとして、準備段階から色々とお骨折りいただきありがとうございました。また、並木臨時幹事には手術からの回復リハビリ期間にも関わりませず、タクシー差配、懇親会の司会等、当日の運営に多大な力を発揮していただき、ありがとうございました。なお、参加者から、コメントをたくさんいただいております。以下に紹介させていただきます。これを読んで京機会事務局の段さんが豪華メンバーの参加ですね、本当は私もゴルフができるようなら参加したいですとおっしゃった意味がよく分かりました。素晴らしい人たちはやはり心配りのできる方々であることであることを再認識しました。それで思い出したことがあります。2003年名誉総裁に皇太子殿下を迎え、世界中から6000名を集めた世界ガス会議東京大会開催時に私は組織委員会に出向していて3大メジャーの記者会見を任されていたのです。発表者の3大メジャーのトップであるイギリス人のbP（旧ブリティッシュペトロリアム）会長が記者会見場に入られる時に、記者（多分アメリカ人？）が横から先に入ろうとしたので私が思わず制止しようとしたら、bPの会長が、「どうぞお先に」、とその記者に言われたことを思い出しました。さすがに本場の真のジェントルマンと感心しました。でも今回参加の皆様方はそれに劣らぬ心配りのできる方々です。コメントありがとうございました。また、今回、参加者をこういう気持ちにさせて、年齢に関係なく楽しめる、ゴルフの持つ不思議な力にも改めて感心しました。



（立派な懇親会場、年代を感じます）



（クラブハウスから見るグリーン、神戸の海が近くに見えます）

頂いたコメント：11月8日到着分まで、順不同、敬称略です。

大変お世話になりました。おかげで、関西の方々と親しく交流が出来これからもいい関係が築けました。皆様素晴らしいパワーをいただき、まだまだ私も、人生これからと、力づけられました。ありがとうございました。翌日の京機会総会にも、沢山の方が参加いただきありがとうございました。懇親会に参加出来ずに失

礼しました。野田様、いい機会を与えていただき感謝感謝です。また、幹事会、総会ともお世話になりました。懇親会は出られず失礼しましたが、これからも、お元気で後輩の憧れでいてください。奥様と、一緒に、ゴルフが出来幸せでした。よろしくお伝えください。西宗様ご夫妻、ゴルフご一緒ありがとうございました。ご迷惑をおかけしましたが、これに懲りず機会があればご一緒ください。
(藤原健嗣)

晴天に恵まれた素晴らしいゴルフカフェの企画と実行に心から感謝します。 良い思い出として長く残します。本当に有難うございました。(小澤 三敏)

念願の神戸ゴルフ倶楽部でプレーさせていただき、一生の思い出となりました。また、当日の集合写真をはじめ、素敵な写真ありがとうございました。帰路、柏木様には宝塚まで送っていただきまして、本当にありがとうございました。京機会ゴルフカフェの益々の発展をお祈りいたします。(大坪 利行)

此のたびは「神戸ゴルフ倶楽部」という 歴史・伝統のあるコースでPLAYする機会を与えて戴き有り難うございました。 宝塚の先輩がコースは「百聞は一見にしかず」と笑いながら、是非 参加するように勧めてくれたのが 理解できました。IN の 11 番からのスタートに 度肝を抜かれた！！感じがしました。でも、快晴の中・眼下に「大阪湾」を展望できるコースでメンバー、倶楽部の方々の HOSPITALITY にも恵まれ、非常に楽しい 1 日でした。それ以上に 33 年卒の先輩の方々の御元気なお姿・PLAY に衝撃を受けました。 これらも野田様はじめ幹事の皆さんのご尽力のお蔭と感謝いたします。ゴルフの後 神戸・宇治・奈良など行ってました。お礼が遅れたことお許下さい。本ゴルフカフェのますますのご繁栄と、チャンスがあればまた参加する機会があれば嬉しく思います。感謝・感謝です。(西 博)(中部支部)

素晴らしい一日を段取り頂き、またご一緒して頂きありがとうございました。この会がますます発展し、長く京機会の名物行事となります様、祈ってやみません。(西宗久昭、園子)

11/4 は楽しい 1 日を過ごさせて頂き誠にありがとうございました。野田様、話には聞いたことがある由緒ある神戸ゴルフ倶楽部でプレーできたことを感謝いたしております。また、いつも幹事でご苦労いただいている橋永様、並木様ありがとうございました。私も 70 を越え、75 位まではゴルフができればいいなと思っていましたが、今回 10 歳以上も年配の方が四方も居られ、小澤さまに至っては当倶楽部のエージシュートを達成されましたことに全くの驚愕です。私も考えを改

めねばと思っています。これからも本会に参加しますのでよろしくお願いします。（谷口 寛）

昨日は色々とお世話になり、懐かしい六甲山で、楽しいゴルフができました。準備から当日の運営まで、大変にお世話になりました。有難うございました。ゴルフカフェのご発展を祈ります。（岸本秀弘）

幹事役ご苦労様でした。総合報告並木さんの写真とも受領しましたありがとうございました。 幹事補佐ありがとうございました。また写真もありがとうございました。お名前がわかるともっといいのですが ⇒対応しました。（川合 等）

お礼が遅くなったことお許してください。日本最古のゴルフ場でプレーできたことはゴルフ愛好者としてこの上ない喜びです。お世話いただいた皆様に心から感謝いたします。先輩諸氏に見習って私も好きなゴルフをできるだけ長く続けたいと思います。本当に有難うございました。（石井 清治）

なお、次回は春頃に大阪方面で開催する予定です。その次は京都での開催を検討中です。奮ってご参加をお願いします。

（京機会ゴルフカフェ幹事 橋永 雅夫）



山の日を日本最古のゴルフ場で過ごして

1969(S44)卒 幹事補佐 並木宏徳

神戸GCでプレーすることなく滞在できることになった時、こんな贅沢な時間をどう過ごそうかと色々考えました。当日皆さんがスタートするのを見送ったあと、まず宿題のヴォーリズ六甲山荘を見に行こうと出かけました。気持ちの良い青空の下、クラブハウスを出て山間の道を歩くこと5分、山荘への入り口には「本日の見学は終了しました」の掲示。

実は数年前に山歩きの帰りに立ち寄った時も、午後遅くなってしまったからか同じ掲示が出ていて見学を断念して山道に戻り、神戸ゴルフクラブの前を通りがかった時にクラブハウスから出てこられた野田先輩ご夫妻にバツタリお会いしました。ご夫妻のペアでベストボールマッチを戦わせての帰りだと仲良く車に向かわれる姿を見送り、独りケーブル駅に向かったことでした。

日本最古の神戸ゴルフクラブでのカフェ開催を橋永幹事に提案したのはそういう事があったからで、野田忠吉先輩が快く開催をお引き受けいただいて京機ゴルフカフェを開催できたのですが、手術後間もないのでプレーなしで参加という事になったのは何となく因縁を感じ、またしても「本日の見学は終了しました」を見て益々その感を深めました。



W. メレル・ヴォーリズの設計になる登録文化財指定のクラブハウス内、食堂への入り口

気を取り直して、山荘前の道をへの一段と細くなった山道を歩くと木漏れ日の奥に白いオブジェが池に浮かんでいるのが垣間見え、やがてオルゴール博物館の前にでました。そこで初めて「六甲ミーツ・アート芸術散歩 2016」という芸術祭が開催中だと知りました。

幾つかの野外展示などを楽しんだあと、クラブに戻り三人で上がってこられた熊澤さんらと昼食をご一緒させていただきました。午後はケーブル駅から保壘岩へ、芸術散歩と久しぶりの山歩き感覚に充実した一日を楽しむ事ができました。

夕方には開場以来のクラブチャンピオン名を掲げたボード等の下を通って奥へ入ったコンペルームで表彰式が開催されました。小澤三敏氏のエイジシュート、橋永雅夫幹事の優勝などを祝して愉快的な一日が無事終わりました事を感謝し、また帰りには快く車に便乗させていただいた皆様方に厚く御礼申し上げます。

—— 京機短信への寄稿、 宜しくお願い申し上げます ——

また、原稿が切れてきました。京機短信存続が問題になるレベルです。

是非とも投稿、お願い致します。 気楽に ！！

但し、原稿のタイトルの次に、**著者名と卒業年次を必ず記入**してください。その記入のない投稿がかなりあり、編集者の仕事を増やしていますので、何とぞご配慮の程、お願い申し上げます。

【要領】

宛先は京機会の e-mail : jimukyoku@keikikai.jp です。

原稿は、割付を考慮することなく、適当に書いてください。 割付等、掲載用の後処理は編集者が勝手に行います。 宜しくお願い致します。

平成 28 年 11 月 19 日(土)、京都駅近くのリーガロイヤルホテルにて「燃焼研 OB 会」が開催されました。残念ながら池上名誉教授(S33)がご体調の加減で欠席されましたが、39 名出席の盛会になりました。

燃焼研(S39 卒以降の旧長尾研・池上研を含む)OB 会は 4 年に 1 回オリンピックイヤーに開催されています。前回の平成 24 年は大津で開催され、懇親会の後ミシガン・クルーズを楽しみました。

塩路教授の司会・挨拶、川合 OB 会長発声の乾杯のあと情報交換や思い出話に花が咲きました。約 2 時間の歓談の後、徳島から出席の三輪 恵先生から「今ここに長尾研時代から池上研、塩路・石山研までのおよそ 50 年間の卒業生と一緒に集まっていることは内燃機関の繋がりで、これは誇りうることであり、やっぱり内燃機関は不滅である証拠です。」との挨拶でお開きとなり、次回 2020 年(H32 年)の東京オリンピックの年の再会を期して別れました。その後、有志は紅葉がきれいな東寺を訪れ、新都ホテルで二次会をしました。

